

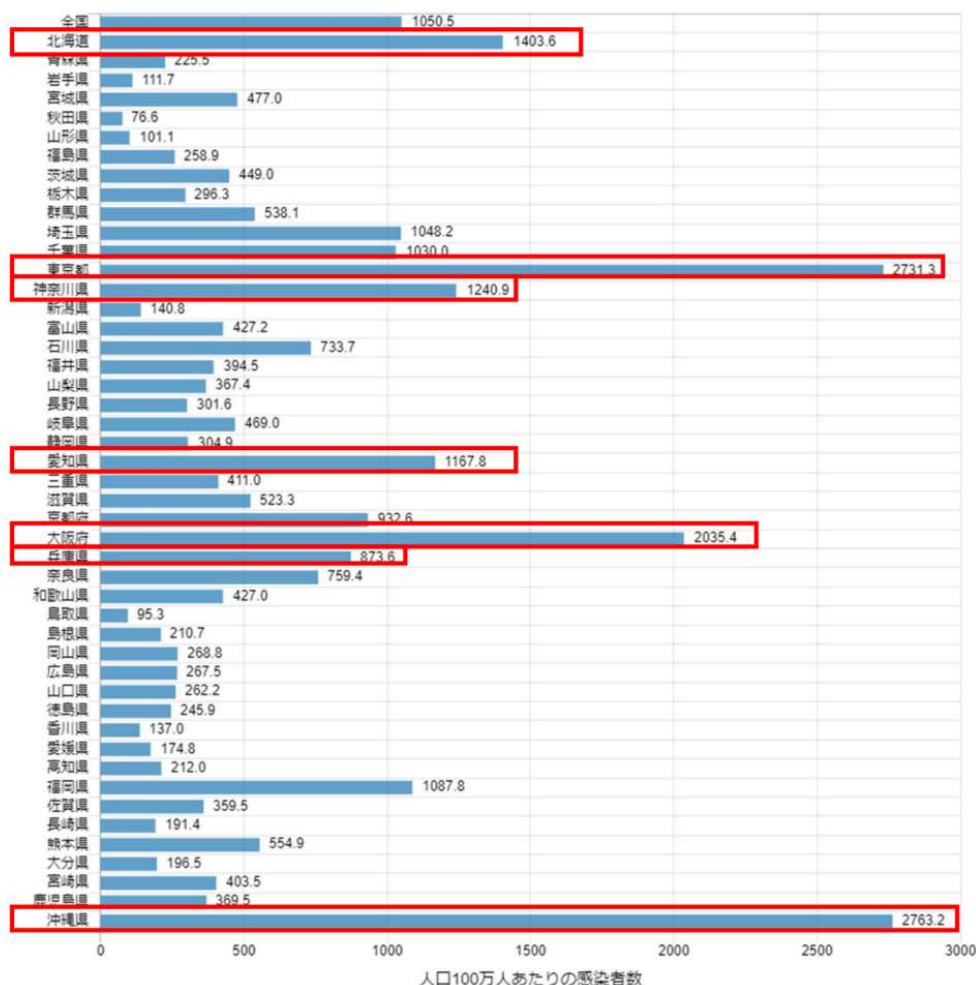
感染拡大地域はどこ？ 11月25日

ようやく政府が重い腰を上げてGo Toトラベルキャンペーンの一部見直しを決め、これを受けて大阪、北海道の札幌市を目的地とする旅行を対象外とすることが決まりました。見直しの条件として「感染拡大地域への旅行」ということがあげられていました。今の時点での感染拡大地域はどこが該当するのかについて調べたことを書きます。ただしあくまで素人の視点で見た、という条件付きですが。

最初の都道府県別の累積感染者数です。感染拡大ということと累積数は直接に関係しないと思いますが、ここではむしろ感染者の割合を感じてもらいたいと思っています。データはいつものように札幌医科大学のサイトから引用しています。

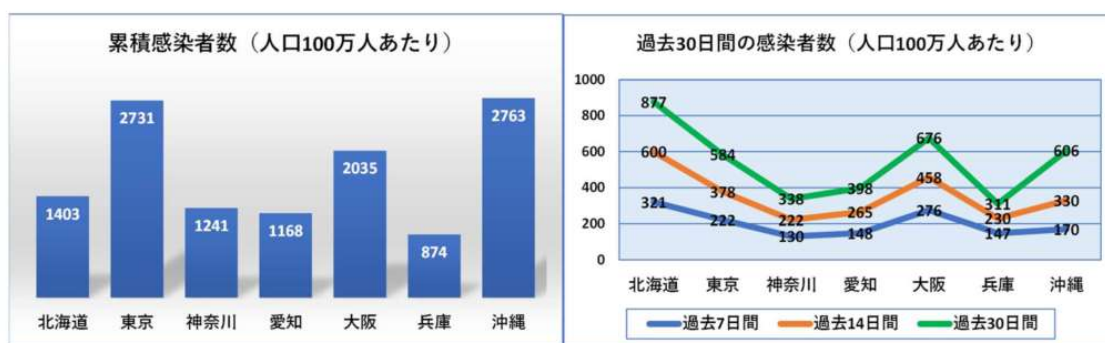
【都道府県別】人口あたりの新型コロナウイルス感染者数の推移 (sapmed.ac.jp)

累計感染者数 人口100万人あたり



人口 100 万人あたりの累積感染者数の最多は実は沖縄県です。沖縄県は 9 月以降感染者が増大し、東京を抜いてトップになりました。現在でも僅差で東京を抑えてトップにいます。次いで大阪、北海道となるのですが、実は全国平均を上回っているのは赤枠で囲った 7 県のうち兵庫県を除く 6 都道府県と福岡県の計 7 都道府県しかありません。福岡県でなく兵庫県を赤枠で囲ったのは、過去 30 日間でみると福岡県ではなく兵庫県が全国平均を上回っていたからです。赤枠の都道府県の累積感染者のデータは下の左のグラフに別掲しています。

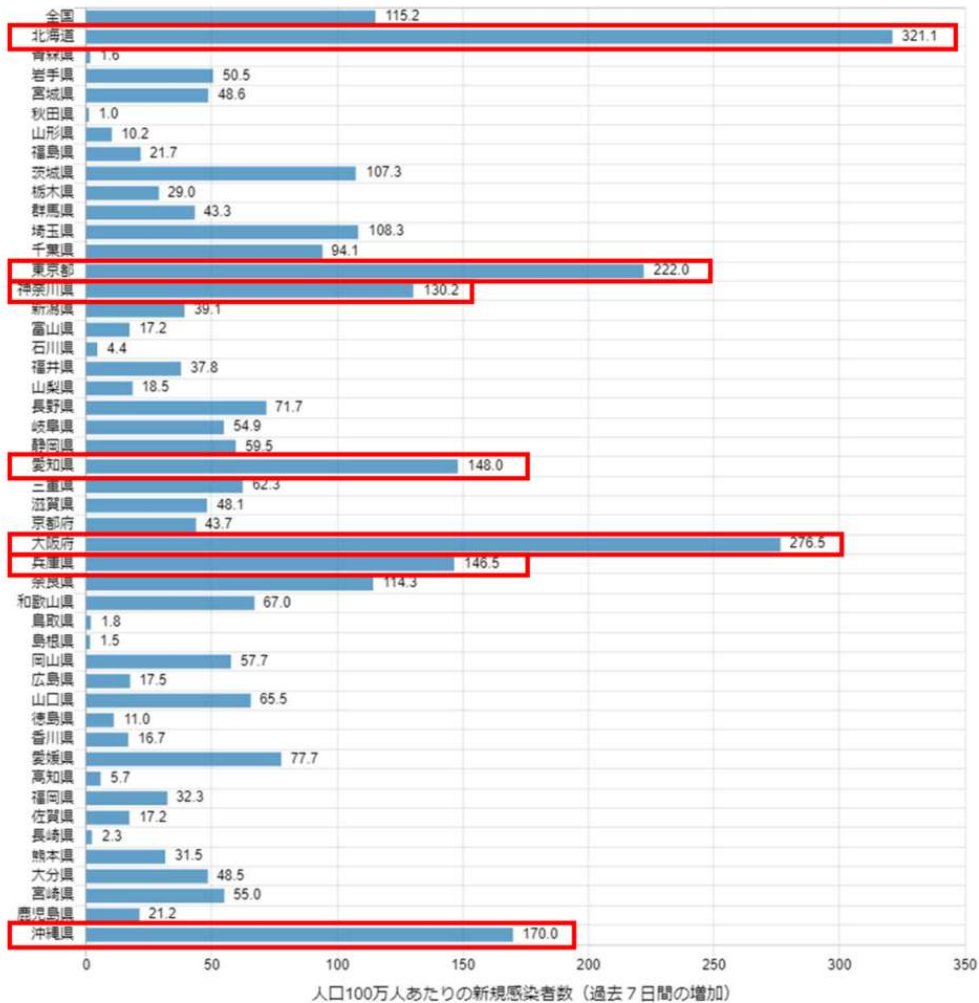
累積感染者の割合を何人に一人という形で表すと、全国平均で 952 人にひとり、沖縄県で 362 人にひとり、東京都で 366 人に一人となります。360 人と言えば、さして大きくない小学校や中学校の人数、あるいは少し大きい会社の人数かもしれません。



上の右のグラフは過去 30 日間で感染者の多かった 7 都道府県について、人口 100 万人あたりの過去 30 日間、過去 14 日間、過去 7 日間の感染者数をグラフ化したものです。いずれの期間をとっても感染者の数では北海道がトップで二番目が大阪ですが、三番目は過去 30 日間で沖縄、過去 7 日間と 14 日間で東京と分かります。これは沖縄の感染拡大が小休止したためと推定しています。この 3 本の線の間隔を見てもらうと X 軸と 7 日間が最も間隔が大きく、ついで過去 7 日と 14 日という順になっており、最近になるほど感染者増加のスピードが上がっていることを示しています。

Go To キャンペーン見直しの地域として、大阪府と北海道札幌市が決まったのは上のデータからみて妥当だと思いました。しかし同時に沖縄はどうなのかと心配になりました。また北海道の感染拡大の理由として専ら気候的なことがあげられていることにも疑問を感じざるを得ませんでした。

過去7日間の感染者数 人口100万人あたり



これが過去7日間の人口100万人あたりの感染者数の都道府県別データです。寒い北日本でも北海道のみが感染者が多く、青森県や秋田県の感染者数は全国でも最少レベルです。また沖縄の感染者数が依然として多いことも踏まえて、気候的な要因が第一義的であるとはどうしても思えません。

2020年4月1日現在の各都道府県の人口と人口密度

#	都道府県	人口密度	#	都道府県	人口
1	東京都	6,354.79	1	東京都	13,942,856
2	大阪府	4,631.03	2	神奈川県	9,200,166
3	神奈川県	3,807.54	3	大阪府	8,823,453
4	埼玉県	1,932.02	4	愛知県	7,552,873
5	愛知県	1,460.04	5	埼玉県	7,337,330
6	千葉県	1,217.43	6	千葉県	6,279,026
7	福岡県	1,024.79	7	兵庫県	5,463,609
8	兵庫県	650.36	8	北海道	5,248,552
9	沖縄県	637.52	9	福岡県	5,110,113
10	京都府	560.07	10	静岡県	3,639,226
11	香川県	509.42	11	茨城県	2,868,041
12	茨城県	470.37	12	広島県	2,807,987
13	静岡県	467.93	13	京都府	2,583,140

都道府県市町村ランキングデータ https://uub.jp/rnk/p_j.html

都道府県別の延べ宿泊者数 (2019年)

単位: 人泊

順位	都道府県	延べ宿泊者数	順位	都道府県	延べ宿泊者数
1	東京都	78,981,720	25	岐阜県	7,304,310
2	大阪府	47,427,510	26	長崎県	7,248,850
3	北海道	36,983,420	27	茨城県	6,299,850
4	沖縄県	32,865,670	28	岩手県	6,276,670
5	京都府	30,749,560	29	岡山県	5,660,680
6	千葉県	29,229,120	30	山形県	5,571,860
7	神奈川県	23,883,890	31	埼玉県	5,436,560
8	静岡県	23,429,440	32	和歌山県	5,324,320
9	福岡県	20,420,380	33	滋賀県	5,016,150
10	愛知県	19,337,740	34	香川県	4,659,250
11	長野県	18,052,570	35	青森県	4,605,770
12	兵庫県	14,417,170	36	愛媛県	4,385,520
13	福島県	12,657,410	37	愛知県	4,320,060
14	広島県	11,630,710	38	福井県	4,144,090
15	宮城県	10,934,100	39	富山県	3,807,890
16	新潟県	10,930,410	40	山口県	3,761,960
17	栃木県	9,559,870	41	秋田県	3,653,930
18	石川県	9,200,650	42	島根県	3,641,650
19	山梨県	9,072,350	43	高知県	2,903,110
20	群馬県	8,648,440	44	鳥取県	2,887,920
21	三重県	8,599,890	45	佐賀県	2,801,730
22	鹿児島県	8,366,340	46	奈良県	2,726,320
23	大分県	7,902,700	47	徳島県	2,568,550
24	熊本県	7,633,470	合計		595,921,480

注: 宿泊予約前金平様、宿泊施設タイプ不詳及び懸念事項を省略
 資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」<<http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/routes/shukuhakubouken.html>> (2020年7月30日アクセス)
 新潟経済高工リサーチ研究所 <https://blog.rcn.or.jp/guests-number-2019/>

この二つの表は以前にもご紹介したデータです。左が都道府県の人口と人口密度の上位 13 都道府県、右が年間の都道府県別宿泊者数です。感染者数は人口と人口密度の両方が多い都道府県に多いとご紹介しました。そして人口と人口密度は多くの場合相関関係にあるともご紹介しました。また年間宿泊者数では、注目すべきは東京、大阪について、北海道、沖縄が 3 位、4 位であることをご紹介しました。

以上を踏まえると、過去 30 日間の人口 100 万人あたりの感染者数からみると、今回大阪と北海道が除外指定されたことは妥当と思われます。また次に感染拡大地域として Go To トラベルキャンペーンで除外指定されるべきは沖縄や東京であり、その理由は、特に沖縄の場合には感染拡大の要因として旅行者の存在が排除できないことにあると考えます。Go To キャンペーンの除外指定は人々の行動変容にも大きな影響を及ぼすだけに、タイムリーな判断に基づき行われてほしいと願います。